

日本パペットセラピー学会(JPTA)からのお知らせ

*主な記事：理事長ご挨拶、新入会員としての抱負、各委員会活動紹介、第19回大会ご案内等

ニューズレター 2025 No.1

2025年6月1日 JPTA事務局 〒981-1295 宮城県名取市ゆりが丘4-10-1 尚絅学院大学 東研究室内

メールアドレス info@j-pta.net

今回は、まず理事長、各委員会の委員長によります活動紹介や抱負を掲載しています。第19回大会（東京）については矢崎育子大会長によります抱負も含めてご案内しています。パペットセラピーが実践的に様々な分野で広く普及することを期待して、2025年度がスタートいたしました。（編集長：中下富子）

日本パペットセラピー学会理事長としての抱負：学会員100名超えを目指して

理事長 東 義也（ヒガシ ヨシヤ）



理事長3年目に入りました。皆様のご協力によって学会活動が進んでいること、特に会員数が着実に増えていること（現在正会員83名）うれしく感謝しております。

ただ、六千円の年会費に見合う恩恵を、全会員が実感されているのか少々心配しております。会員には毎年、年1回の機関誌と年2回のニューズレターがデータとして送られています。秋の学会大会、腹話術基礎講座、パペットセラピーカフェなどに参加し、発表したり、地域活動助成制度を活用したり、また、論文投稿などできればメリットはさらに増すでしょう。しかし、さまざまな理由でできない方々も少なくありません。

会員の皆様のお働きにもっと貢献できるよう努力しますので、学会に対するご意見をぜひお寄せください。理事会で検討し会員数百名超えを目指して頑張ります。



各委員会の活動紹介と抱負

編集委員会

中下富子（ナカシタ トミコ）

編集委員会は日本パペットセラピー学会機関誌を年1回発行、年2回6月・12月にニューズレターを発行しています。

2025年4月1日に機関誌第18巻第1号を発行いたしましたので、ホームページにて会員の皆様それぞれのパスワードでご覧ください（パスワードがご不明の場合には事務局までお問い合わせください）。第18巻第1号は総説2件、原著論文3件、第18回大会等、掲載しておりますので、パペットセラピーの理論や様々な実践等、ご覧いただきたいと思います。

ニューズレターはホームページでどなたでもご覧になれます。大会開催情報や、会員の皆様の活動、パペットセラピー研修会等、学会の活動状況等、ご覧ください。

また、学会創立10周年記念として本学会機関誌第10巻増刊号（2017）「パペットセラピー入門 パペットセラピーの理論と実践」が再版となりました。ご購入の詳細は、ホームページをご確認ください。

これからも機関誌やニューズレターを皆様に楽しみながらご覧いただけますよう、パペットセラピーにかかわる様々な情報を提供していきたいと思います。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

倫理委員会

近喰 ふじ子(コンジキ フジコ)

学会員から研究推進のために倫理的配慮申請が提出された時、当委員会は開催されます。先日も一件あり承認いたしました。

ただ、近年学会発表に際し、「COI 開示はありません」という文字の記載が徹底されていないのが現状です。当学会は医学系だけの学会ではありませんが、今後必要ではないかと考えており学会内でも周知して行く予定です。また、研究倫理綱領のような規定も作成していくことを検討しております。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

***COI とは？** 「Conflict of Interest」の略で、利益相反という意味です。簡単に言いますと、第三者からお金や地位を提供されることで、研究者が歪んだ判断をしかねない状態のことを言い、高い倫理性や透明性を持って研究を実施している事を伝え、同時に社会から広く理解や信頼を得るためのものなのです。

***自己申告基準は、省略させていただきます。**

研修委員会

千葉 俊一(チバ シュンイチ)

2025 年度になり、委員全員いろいろ協議しながら運営してゆきたいと思っています。昨年同様、会員同士のつながり、交わりをより深いものにするための集いとして「パペットセラピーカフェ」を企画することになりました。本学会の会員がそれぞれにワイワイガヤガヤしながら談笑して、学びあう場も持つ必要があるとの認識から企画しました。

2025 年 7 月 21 日(月曜・祝日) 14 時から 15 時までの 1 時間、15 名限定ですが、楽しく学びあえる場を開催します。たくさんの会員の方にご参加いただければと思います。そうそう、自分おひとりでの参加はもったいないので、ぜひおそばに愛用のパペットも出演させてくださいね。今回の店長は、パペットのマイケル・ニャクソンさんです。楽しい空気を作るよう頑張ります(詳しくは後日ホームページをご覧ください)。

また、今年度の後半には、会員向けパペットセラピーのための腹話術講座も開催する予定です。



オンラインでのパペットセラピーカフェの開催
2025年7月21日(月) 14:00~15:00 定員15名



広報委員会

高村 豊(タカムラ ユタカ)

広報委員会では、現在、学会紹介の新パンフレットを作成計画中です。

学会としての活動、また学会員のグループでの活動を支援できるように行政や助成金が受けられるように諸機関から情報を得て、助成金申請の努力を続けています。

日本パペットセラピー学会がより広く知られるよう、関連する団体の機関誌等に寄稿することも必要と考えています。そのため、会員の皆様から「こんなところに、紹介文を掲載し広報したらよいのではないか」というご意見や新聞や雑誌に紹介されたという記事なども連絡頂けたらと思います。

パペットセラピスト認定委員会

東 義也(ヒガシ ヨシヤ)

パペットセラピスト認定委員会は、理事長・副理事長(東・中下・高村)の3人で構成されています。認定資格者(現在 25 名)がもっと増えてほしいという趣旨で、現在認定条件の見直しをしており、理事会で継続審議中です。10 月の学会大会には結果報告できるよう努めます。

「パペットセラピスト」は国家資格ではありません。本学会としての認定資格に過ぎません。しかし、「パペットセラピスト」として認知され、活躍の場を持っている学会員がいます。簡単に取得できるのは避けなければな

りませんが、学会員のお住まいの地域や職場、また学术界でパペットセラピーの輪が広がっていくためにも必要なことと考えております。

学会員として3年以上在籍し、パペットを用いた実践経験をお持ちで、学会関係のイベントや発行物に参加・発表・執筆くださるなら、限りなく認定に近づくとおもいます(審議中なのでこれくらい)。ぜひ資格取得に向けてご検討ください。



新入会員としての抱負 (敬称略)

八木孝憲 (ヤギ タカノリ)

2025年4月より実践女子大学にて公認心理師養成に従事しております、八木孝憲と申します。パペットに関しては予備知識も何もなく、ただ「何だかおもしろそう、楽しそう!」という動機から入会いたしました。

心理療法においてどのように活用できるのか、諸先生方からたくさん学びたいと考えています。

自宅に届いたパペットで早速我が家の息子(0歳児)に話しかけています。これがなかなか反応が良くて、やはり「楽しい!」のです。

野口哲哉 (ノグチ テツヤ)

北九州や岐阜、東京で日本バプテスト連盟の基督教会の牧師をしてきました。日本パペットセラピー学会に入会したきっかけは、2024年8月のAVACO(日本聖書協会・キリスト教視聴覚センター)主催の研修会で東義也先生の研修を受講したことです。とても分かりやすく、「技術」以上に出会っていく人々(子供)の目線に立って、喜びや悲しみをも共有し、大切に「絆」を作っていくあり方に感動しました。

牧師生活も34年目となり、大きな手術を受けるなどして様々に節目を迎えようとしていく時に、今後の人生の中でパペットセラピーを通して他の人々との交わりを少しでも与えられたらと願っています。

狩野 陽子 (カノウ ヨウコ)

大学で児童文学や図書館学を学び、30代は小学校の司書、40代後半からは小学校教員として働きながら、子どもや大人に読書の喜びやお話の楽しさを伝える活動を続けてきました。

ストーリーテリングが得意でたくさんのお話を覚えて語りました。退職後、お話を語る機会が減っていましたが、昨年東先生を通してこの学会を知りました。

パペットセラピーについて学び、パペットと一緒にまた誰かにお話を届けられたらと願っています。

川原 正広 (カワハラ マサヒロ)

昨年度より入会させていただきました岩手大学の川原正広と申します。現在は学部や大学院にて公認心理師や臨床心理士の養成に携わりながら、大学院附属のこころの相談センターにてカウンセラーとして心理的支援の業務を行っています。パペットを使った自己との対話やセルフカウンセリング、親子支援について関心があります。

学会等でお会いしたときにはお声かけいただけると嬉しく思います。今後ともよろしくお願いいたします。



日本パペットセラピー学会 第19回大会ご案内



今大会では「パペットの人々を癒して元気にする力」を感じながら、色々な場所や多年代に向けて実践をしている方達に発表していただき、理論と実践を絡めながら討議する中で、豊かな可能性を探っていききたいと思います。講演からは、セラピーで大切な事や最新の認知症ケアの考え方についても、学んでいきたいと思っています。

また、出来るだけ参加者もパペットを連れて来ていただきたいです(貸出有り)。実際にパペットを介在させての交流や体験からの気づきも、今後の実践に活きるとよいと思います。様々な分野や立場の方々のご参加をお願いいたします。



第19回大会テーマ「パペットセラピーの豊かな可能性」

～それぞれの場で寄り添うパペット～

○日 時： 令和7年10月19日(日)

○会 場： 社会福祉法人全国心身障害児福祉財団ビル 東京都豊島区南大塚3丁目43-11

○主要内容：(詳細については、6月末にご案内させていただきます)

・大会長基調講演「パペットセラピーの豊かな可能性を探る」

～それぞれの場での実践から～ 矢崎育子(パペットセラピスト/元短期大学非常勤講師)

・教育講演「認知症の備えとケアにおけるセラピーの可能性」

～オレンジカフェとパペットセラピーの効果～ 講師 狩野英美先生

(元山梨県立大学看護実践開発研究センター主任教員・認知症看護認定看護師)

・一般演題(学会会員による研究発表) 一般募集をしているのでHPをご覧ください

・シンポジウム 「なぜパペットセラピーなのか」～パペットセラピーだから出来ること

(学会会員のシンポジストによる講演と質疑・話し合い)

・ワークショップとディスカッション (講師と大会参加者参加によるWS・話し合いなど)

「パペット合唱団と歌おう」、「パペットでアイスブレイク」等

※実行委員は、矢崎育子、中下富子、出山雅章、東海林照子の4人です。



事務局だより

今年度より当学会の事務局長となりました、理事の安藤倫子(アンドウトモコ)です。主に学会の会計と会費に関する事務を担当します。

会計業務は素人なので相棒のパペットたちに手伝って欲しいと打診しましたが、声援だけが「ガンバレーガンバレー！」と聞こえてきます。やっぱり腹話術のように二人三脚とはいかないようです。東理事長と連携し、円滑に進むように頑張っていきます。どうぞよろしくお願い致します。

(安藤倫子 アンドウ トモコ)